










事業名	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	実施年度	R1～R5	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(1) フルーツの里づくり	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・櫛引地域は多品種少量生産ながら、四季折々のフルーツ楽しめる「フルーツの里くしびき」として果樹振興を図っている。</li> <li>・果樹農家の高齢化に伴う離農や規模縮小により遊休樹園地等の増加が顕在化しており、今後もこの傾向が続くことが想定される。</li> <li>・産地としての生産基盤を維持していくためには、次の担い手を確保していくとともに、園地をスムーズに継承していく仕組みづくりが必要である。</li> <li>・フルーツの里ブランド化の推進にあたっては、果実の安定生産及び付加価値の向上が求められる。</li> </ul>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>事業の方向性</b></p> <p>●多品種少量生産の特色を生かした「フルーツの里くしびき」のブランド化 → <b>果樹振興のモデルケース</b></p> <p>事業の3本柱</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #ADD8E6;">園地継承対策 後継者の確保</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #90EE90;">生産者の 所得向上</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #FFDAB9;">産地PR</div> </div> </div>			
事業目的		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>具体的取組</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【園地継承対策・後継者の確保】 県・農政課+櫛引庁舎</b></p> <p>○県、JA指導員等による生産者技術向上研修会の実施【40千円】</p> <p>【目的】生産技術の高位平準化</p> <p>【内容】剪定作業等の高品質な果実生産に向けた技術向上研修</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【生産者の所得向上】 櫛引庁舎+奥田シェフ+産直めぐり</b></p> <p>○フルーツ加工品の商品開発【400千円】</p> <p>【目的】櫛引産フルーツの高付加価値化</p> <p>【内容】地元料理人（奥田シェフ）と連携したフルーツ加工品の商品開発（2品程度）</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【産地PR】 櫛引庁舎+DEGAM鶴岡+庄内交通</b></p> <p>○教育旅行等と加工体験の連携による誘客促進【350千円】</p> <p>【目的】観光果樹園、産直施設の利用拡大</p> <p>【内容】観光事業者と連携したモニターツアーの実施（もぎ取り体験+加工体験） DEGAM鶴岡</p>  </div> </div>			
事業内容		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「フルーツの里くしびき」のブランド化に向けて、「フルーツの里ブランド化支援事業（補助事業）」を実施し、鶴岡市における果樹振興のモデルケースとするべく取り組む。</p> <p>(1) 生産技術向上及びふるさと納税等推進に向けた研修会の実施</p> <p>(2) 新たな需要を創出するフルーツ加工品の商品開発</p> <p>(3) 教育旅行等と加工体験の連携による誘客に向けて、実証事業（モニターツアー）の実施</p> <p>(4) SNSによる情報発信、販売促進活動の継続</p> <p>・「フルーツの里」ブランド化支援事業補助金 [R4予算額：3,531千円]</p> <p>・事務経費 [R4予算額：150千円]</p> <p>[実施体制]</p> <p>・実施主体は、櫛引地域産業振興プロジェクト推進協議会</p> <p>・協議会で「フルーツの里推進員」を雇用し、事業推進</p> </div>			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>ブランド力強化等に向けた取組</b></p> <p>○フルーツの里推進員による事業推進</p> <p>SNS等による情報発信【2,741千円】</p> <p>「くしびきフルーツ日記」の配信継続</p> <p>「くしびきフルーツだより」の発行継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係機関と連携した販売促進活動</li> <li>● ふるさと納税推進等に向けた研修会の開催</li> </ul> <p>○事務経費（消耗品費、賃借料等）【150千円】</p> </div>		<p><b>【目標】生産者の所得向上 @100円▲@130円</b></p> <p>多品種少量生産の特色を生かし、四季折々の果実を楽しめるフルーツの里くしびき</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	
<b>2022(R4) 予算額</b>				<b>3,681 千円</b>	



事業名	櫛引地域都市農村交流促進事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(2) 都市農村交流の推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>30年近くにわたる都市農村交流は、都市部に鶴岡ファンを多く輩出しており、今後も観光振興やグリーン・ツーリズムの推進、農産物の販路拡大など、多面的な活性化を一層図っていくために、よりステップアップした事業を実施していくことが必要である。</p>					
事業目的		<p>つるおかファンの獲得 農産物の販路拡大 交流人口の拡大</p>			
<p>JA庄内たがわ青年部櫛引支部が昭和61年から取り組んできた横浜市立青木小学校との交流は、農業への理解促進をはじめ、櫛引南小学校との相互交流や地域農産物の販売、学校給食での「つや姫」の使用などにつながってきた。また、修学旅行の受け入れは、民泊や農業体験、学校間交流など地域全体での取組みに発展している。JA青年部の取り組みを引き続き支援するほか、農家民宿の強化と支援により、交流による活性化や都市部での本市理解者の獲得、地域農産物の販路拡大と交流人口の拡大など多面的な活性化に資する。</p>					
事業内容					
<p>○地域資源活用農家民宿支援事業補助金〔R4予算額：100千円〕 ・農家民宿グループ「黒川能の里の会」への視察研修費支援等</p> <p>○農産物等販路拡大支援事業補助金〔R4予算額：174千円〕 ・稲作出前授業の実施、あおきふれあいまつりへの参加</p>		<p>青木小学校行事 「あおきふれあいまつり」での JA青年部による農産物販売(10月)</p> <p>青木小学校田での JA青年部による稲作出前授業(6月)</p>			
2022(R4) 予算額					274 千円

事業名	たらのきだいのネイチャーパーク事業	実施年度	R1～R2	事業種別	完了 ハード・ソフト・事業補助
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(2) 都市農村交流の推進	
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>実績（評価）及び今後の方向性</b>			
<p>「櫛引たらのきだいのスキー場」は、ファミリースキー場として多くのスキーヤーやスノーボーダーから絶大な支持を得ているが、全国的なスキーやスノーボード人気の落ち込みと共に入込み客数は全盛期の46%程度となった。</p> <p>「ほのかたらのきだいの」は、地域資源活用型の農業構造改善施設として、また、櫛引たらのきだいのスキー場利用者への便益施設として、スキー場の厨房や食堂機能を有するロッジに宿泊施設や浴室などを増築して開設した。当初は順調に経営していたが、利用者数は年々減少し、夏場における現在の利用者はほぼ皆無となった。</p> <p>しかし、地域住民や施設利用者からは、両施設存続の強い要望があり、また、民間事業者からは、両施設と連携して交流人口やインバウンドの増加を図りたいという提案がある。</p>		<b>実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会 13 千円</li> <li>先進地視察 23 千円</li> <li>ひまわり植栽実証実験 44 千円</li> <li>基本計画策定 459 千円</li> <li>そり乗り場整備 495 千円</li> <li>レンタル物品整備補助 1,200 千円</li> <li>カラフル照明整備 1,859 千円</li> <li>合計 4,093 千円</li> </ul>		  	
<b>事業目的</b>		<b>評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スキー場利用者の増加が見込まれる。</li> <li>地域の活性化が図られる。</li> <li>既存施設の有効活用や施設経営の健全化が図られる。</li> </ul>			
<b>事業内容</b>		<b>今後の方向性</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>櫛引たらのきだいのスキー場 <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地に近いことやナイター照明が完備している利点を生かし、地域に根ざしたファミリーや初心者向けのスキー場であることを運営の柱に据えて健全経営を継続する。</li> </ul> </li> <li>ほのかたらのきだいの <ul style="list-style-type: none"> <li>現状を鑑みると、通年誘客のために多額の予算を投じて整備することは現実的ではないと判断し、今後も活用方法等を検討しながら運営することとする。</li> </ul> </li> </ul>			
<p>上記の予定で進めてきたが、現状を鑑みると、通年誘客のために多額の予算を投じて整備することは現実的ではないと判断し、地域に根ざしたファミリーや初心者向けのスキー場としての整備を実施して、当事業は区切りをつけて完了することとした。なお、今後も活用方法等を検討しながら運営することとする。</p>		<b>2022(R4) 予算額</b>		<b>完了 千円</b>	



<b>事業名</b>	<b>鶴岡市南部エリア観光周遊ルート魅力発信事業</b>	<b>実施年度</b>	R1～R5	<b>事業種別</b>	継続 ソフト
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>櫛引地域振興計画での位置づけ</b>			
<p>本市の観光入込数は、加茂水族館（503,900人/R1、242,100/R2）と羽黒山（716,300人/R1、376,100/R2）を中心に回っており、プラスして4温泉地への滞在（872,000人/R1、457,200人 ※立ち寄り含む）であり、市内全域に目を向けた広域型観光の推進が求められる。</p> <p>櫛引地域の場合、黒川能の里王祇会館、丸岡城跡史跡公園、観光果樹園等の特徴ある観光資源を有するが、櫛引・朝日・黄金地区などと連携した南部エリアとしての観光ルート確立と情報発信が不十分である。また、観光客に対する2次交通の確保が課題であるが、それに応える公共交通環境は整っていない。</p> <p>地元居住者にも県内外からの来訪者にとっても、マイカーやレンタカーによる周遊が現実的であることから、車による市南部エリアの見どころ・景観スポットや周遊ルートの設定と情報発信を行うことにより、マイクロツーリズムの促進と観光需要の喚起につなげたい。</p>		<b>イメージ図・写真等</b>			
<b>事業目的</b>					
<b>事業内容</b>		<b>2022(R4) 予算額</b>			
<p>市南部エリアの周遊ルート確立のため、地域観光協会等の情報交換を推進する。</p> <p>○市南部広域観光の連携</p> <p>市南部エリアの観光組織の連携のもと、見どころ・景観スポットの抽出や周遊ルートの設定を行い、情報発信を行いながらマイクロツーリズムを推進する。 （鶴岡DEGAMと連携した県内外への情報発信含む）</p>		<b>なし 千円</b>			

事業名	黒川能保存伝承支援事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(4) 歴史文化の継承と活用促進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>黒川能は、黒川地区の2つの能座により500有余年の間、連綿と受け継がれてきたが、近年の人口減少や少子高齢化の影響で座加入の戸数および能役者、囃子方が年々減少傾向にある。</p> <p>また、独特の謡や舞、所作、囃子、着付けが特徴である黒川能を継承していくには長い年月を必要とするが、勤務形態や生活環境の変化、価値観の多様化、能役者の高齢化等により、人材の確保および十分な稽古の時間を確保するのも難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。</p> <p>そのため、若い世代に伝統芸能に誇りを持ってもらう活動とともに、文化資源を後世に継承していく仕組みづくりと、旅行者など黒川能の理解者の掘り起こしが必要となる。</p> <p>指定管理者である黒川能保存会は、主な収入を寄附金と公演収入としているが、近年は寄附金も減少傾向にあり、また新型コロナウイルスのため公演依頼も激減しており、厳しい財政状況となっている。</p>		<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【保存伝承の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少</li> <li>・能役者の高齢化</li> <li>・生活環境、価値観の変化</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【継承の仕組みづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的交流</li> <li>・理解促進</li> <li>・後継者育成</li> <li>・事業の円滑な運営</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; background-color: #f9a825; padding: 5px; text-align: center; width: 30%;"> <p>○研究会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川関係資料公開調査</li> <li>・酒井家拝領品特別展示</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid orange; background-color: #f9a825; padding: 5px; text-align: center; width: 30%;"> <p>○後継者育成事業</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; background-color: #f9a825; padding: 5px; text-align: center; width: 30%;"> <p>○黒川能保存会</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>酒井家入部400年記念事業との連携</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>			
事業目的		<p>近年の少子高齢化、生活環境や価値観の多様化により、人材の確保等が難しくなっており、保存伝承が危ぶまれているため、地元櫛引東小学校の児童に対し現役能役者による直接指導を行い、継承の意識付けをし、後継者を育成する。</p> <p>体験用能楽器（30年度整備）と能装束（31年度整備）を活用し、王祇会館を「見る」施設から「体験できる」施設にするとともに、春日神社との連携や体験メニューの開発をすすめ、黒川能への理解促進と来訪者の増加を図る。</p> <p>黒川能保存会の各種事業および管理運営体制を支援することで、継続的な保存伝承に寄与する。</p> <p>また、令和4年度は酒井家入部400年記念事業と連携し、記念事業の盛り上げと誘客を図る。</p>			
事業内容		<p>公益財団法人黒川能保存会が行う下記事業に対し補助を行い支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○黒川能保存伝習研究会（酒井家入部400年記念事業との連携） <ul style="list-style-type: none"> <li>黒川能に造詣の深い識見者の講演会や伝統芸能の上演。</li> <li>装束や面等黒川能に関する資料の公開調査や調査官による講評を聞く会。</li> <li>酒井家拝領品の特別展示等。</li> </ul> </li> <li>○後継者育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>現役能役者による演能および囃子方の指導と水焰の能等成果発表機会の創出。</li> </ul> </li> <li>○黒川能保存会運営補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>黒川能保存会の運営事務全般の補助</li> </ul> </li> </ul>			
		2022(R4) 予算額		3,332 千円	

事業名	能楽青年交流事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(4) 歴史文化の継承と活用促進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>現在、首都圏の大学の能楽サークルを対象に、能楽青年交流事業により、能楽合宿、地元若手能役者との交流を行っているが、その時限りの関わりとなっている。</p> <p>せっかく黒川に来てもらっても、短期間のため、黒川能と農業、地元住民の関わり、食文化等について、理解や体験があまり出来ずに終了してしまっている。</p> <p>能楽合宿に参加したことをきっかけにリピーターとなってもらい、黒川能への理解促進、農業や食文化等の体験をおし、長期的な交流へと発展させていきたい。</p> <p>また、黒川能伝習館には能舞台が設置してあり、地元の能役者の稽古に使用されているものの使用頻度は少なく、利活用について検討する必要がある。</p>		<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <h3 style="color: red; margin: 0;">大学能楽サークル等の稽古合宿誘致・受け入れ</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【既存施設の利用促進】 【観光振興】</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・王祇会館</li> <li>・黒川能伝習館</li> <li>・農家民宿</li> <li>・市内観光施設</li> </ul> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【学び・理解促進・交流】</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元能役者との交流会</li> <li>・イベント参加</li> <li>・食文化</li> <li>・農業体験</li> <li>・住民生活</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 2px dashed red; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>【能楽合宿（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝習館能舞台での能楽稽古</li> <li>・農家民宿への宿泊</li> <li>・地元若手能役者との交流会</li> <li>・市内観光</li> <li>・装束、面等鑑賞</li> </ul> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">「能楽合宿地」としての確立</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">交流人口の増加および長期的な交流</p> </div> </div>			
事業目的		<p>現在取り組んでいる能楽青年交流事業は、首都圏の大学生を対象に、夏季休暇を利用した能楽合宿を行っているが、その時限りの交流になっているため、この事業を通年に拡大し、1年を通した能と農、住民生活の関わりを学んでもらい、能の理解促進、交流の継続につなげる。</p> <p>また、黒川能伝習館、王祇会館、農家民宿の利用促進、観光振興を図り、「能楽合宿地」という分野を確立する。</p> <p>近年の新型コロナウイルス感染症により、首都圏の大学サークルは能楽合宿に来訪できないことから、地元のサークル等にも黒川能伝習館の能舞台を広く貸し出す等、既存施設の利活用、交流人口の増大を図る。</p>			
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や青年層の能楽サークルを対象とした能楽合宿の誘致</li> <li>・能楽合宿での黒川能伝習館の能舞台の貸館や農家民宿の斡旋</li> <li>・地元の若手能役者や地元住民との交流</li> <li>・能楽合宿に参加した学生の「水焰の能」への出演依頼</li> <li>・地元農家での農業体験</li> <li>・王祇祭や蠟燭能の観能またはボランティア</li> <li>・地元サークル等への黒川能伝習館の貸館</li> </ul>			
		2022(R4) 予算額			400 千円





事業名	櫛引綴れ織り文化保存事業	実施年度	R1～R5	事業種別	継続 ソフト・事業補助
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(4) 歴史文化の継承と活用促進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成8年に京都「石川つづれ」が旧櫛引町に設置した「土筆工房」を契機として、京都西陣織りの流れを汲み、櫛引地域の家庭内産業として栄え、現在も鶴岡地域、櫛引地域に残存。</li> <li>綴れ織り工房の虚籟庵は、歴史ある「つるおか絹物語」として世界へ発信。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>綴れ織り職人が少なく、後継者不在、職人の高齢化。</li> <li>天澤寺にある遠藤虚籟の糸塚、綴れ織り工房の虚籟庵の認知度が低い。</li> <li>作品製作に時間と手間がかかる。</li> <li>需要、販路が限られている。</li> <li>伝統工法を承継していく体制が確立されていない。</li> </ul>					
事業目的		<p>丸岡城址公園案内所</p>			
事業内容		<p>虚籟綴錦織曼茶羅糸塚</p> <p>綴れ織りの織機</p>			
<p>史跡顕彰組織等が行う故遠藤虚籟の顕彰と綴れ織りの展示・体験、情報発信活動に対する事業を支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>虚籟庵の模様替え (R 3 実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>丸岡城跡史跡公園の休憩・案内所部分の模様替え</li> <li>故遠藤虚籟や作品のパネル設置等</li> </ul> </li> <li>綴れ織りの作品展示、綴れ織り体験実施 (R 4) <ul style="list-style-type: none"> <li>致道博物館 (遠藤虚籟の作品を収蔵) と疎開先であった丙申堂に糸塚に関するパンレットを設置して、丸岡城跡への誘客を図る。</li> <li>丸岡城址公園、松ヶ岡開墾場の行事開催にあわせて虚籟庵による綴れ織りの実演イベントを実施し、後継者となり者を掘り起こしを図る。</li> </ul> </li> </ol>		2022 (R 4) 予算額		305 千円	

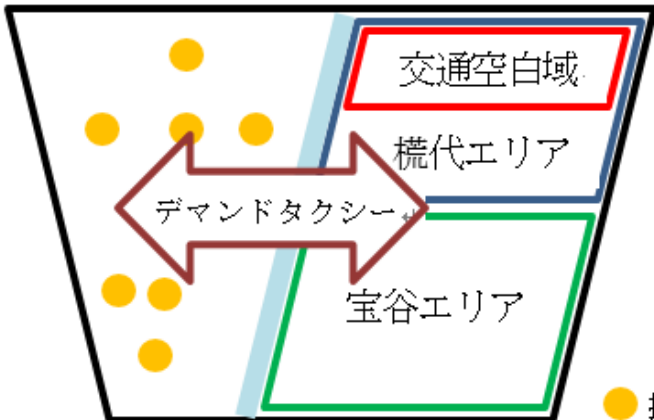

事業名	櫛引地域歴史文化施設ガイダンス整備事業	実施年度	R4～	事業種別	新規 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(4) 歴史文化の継承と活用推進	
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>イメージ図・写真等</b>			
<p>櫛引地域には現在、黒川能の里王祇会館、丸岡城跡史跡公園という文化施設があり、伝統芸能や歴史について展示等を行い、全国各地から見学に訪れている。近年は、インバウンドによる外国人観光客も増えつつある。</p> <p>両施設とも、地元住民によるガイドの会員が、予約制によりガイドを行っているものの、会員の高齢化や担い手不足等により、対応が困難な場合もある。</p> <p>また、施設内の表示は全て日本語表記であり、英語で対応できる人材もいないため、外国人観光客が訪れる場合、通訳などが同行しないと案内できない状況である。</p> <p>そのため、酒井家庄内入部400年の機会を生かし、文化施設を新たな観光拠点に位置付け、地域内にある他の観光施設の多言語化等を一体的に整備することで、観光振興の強化を図る。</p>		<div data-bbox="1283 322 1727 374" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>■新たな観光拠点を中心とした整備</b> </div> <div data-bbox="1283 392 1776 722"> <p><b>○観光振興の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の案内表示の整備（サービス性）</li> <li>施設及び通信環境の整備</li> <li>インバウンドへの対応（多言語パンフレット）</li> <li>周辺環境の整備（アクセシビリティ）</li> </ul> <p>※産業建設課（建設、観光部門）と連携した事業展開</p> <p><b>○担い手育成・確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>QRガイダンスによる館内の案内</li> <li>既存の映像資料の英語字幕処理</li> </ul> </div> <div data-bbox="1850 322 2257 696"> </div> <div data-bbox="1283 765 1727 817" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>■事業予定（R4）</b> </div> <div data-bbox="1283 835 2096 1017"> <p><b>○多言語ガイダンス整備事業</b>  : <b>298千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>王祇会館、丸岡城跡史跡公園のパンフレット製本（英語翻訳）</li> </ul> <p><b>○王祇会館・丸岡城跡案内看板製作業務委託</b>  : <b>990千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>王祇会館、丸岡城跡史跡公園に案内看板を設置（サービス性向上）</li> </ul> </div>			
<b>事業目的</b>		<div data-bbox="1283 1043 2257 1147" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>酒井家庄内入部400年の機会を生かし、施設への来館を促すとともイベント後も継続的に観光振興の強化を推進することが重要！</b></p> </div> <div data-bbox="1419 1190 2146 1373"> </div> <div data-bbox="1431 1390 2133 1503" style="border: 2px dashed red; padding: 5px; text-align: center;"> <p>歴史的・文化的価値の理解促進による新たな観光拠点</p> <p>地域内にある他の観光施設と連携 ⇒ <b>広域観光</b></p> </div>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の案内表示や周辺環境の整備により、観光客へのサービス性を向上させ、観光振興の強化を図る。</li> <li>日本語表記の案内や解説の外国語表記により、今後増加が見込まれるインバウンドの外国人観光客に対応する。</li> <li>案内施設環境の整備、デジタル化により地元ガイドの負担を軽減し、担い手の育成、確保を図る。</li> <li>各種媒体には、令和2年度に実施した観光庁の「多言語解説整備支援事業」の成果品である英語解説を利用することで、支援事業の条件である媒体化を進める。</li> <li>産直あぐりや柏戸記念館などの地域内にある観光施設と連携し、観光振興の強化を図る。</li> </ul>					
<b>事業内容</b>		<div data-bbox="199 1170 1271 1451"> <p><b>【令和4年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語版パンフレット作成（王祇会館1,000部、丸岡5,000部）</li> <li>案内看板製作（春日神社、丸岡）</li> <li>※酒井家庄内入部400年実行委員会等と調整、情報共有を図りながら実施</li> </ul> <p><b>【令和5年度以降（予定）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>QRコードによる英語解説、音声ガイド整備（王祇会館、丸岡、あぐり、柏戸）</li> <li>Wi-Fi整備（王祇会館、丸岡、柏戸）</li> <li>王祇会館映像資料の英語字幕化</li> </ul> </div> <p>○各媒体で使用する英語翻訳については、令和2年度に実施した観光庁「多言語解説整備支援事業」の成果品（英語解説）を使用する。</p>			
		<b>2022 (R4) 予算額</b>		<b>1,288 千円</b>	



事業名	丸岡城跡環境整備事業	実施年度	R2 (～R3)	事業種別	完了 ハード
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(4) 歴史文化の継承と活用促進	
背景・課題・住民ニーズ		実績 (評価) 及び今後の方向性			
<p>○丸岡城跡史跡公園は、史跡復元の面的整備を平成21年度末に完了し、続けて、平成28年度にはガイダンス施設として武家住宅旧日向家を復元整備して、以降、2,000人を超える観光客を迎えている。</p> <p>○バス等での来訪やイベント開催時には、市道が狭く進入できなかつたり、駐車台数が少なく利活用に支障をきたしていることから新たな駐車場整備を地元自治会や顕彰団体から強く求められている。</p> <p>○マイクロバス以上の大型車がガイダンス施設に進入できるよう市道の拡幅を要望されているが、事業費が高額になるため、駐車場整備で支障事項の解決を図るもの。</p>		 <p>完成写真</p>			
事業目的		<p>丸岡城跡史跡公園を会場としたイベント開催時には、市道が狭くマイクロバスが進入できなかつたり、現駐車場が狭いため来訪に支障をきたしている。</p> <p>新たに駐車場を整備し、大型バス等での来訪やイベント開催時の駐車を容易にして、地域資源の更なる利活用を図りながら、観光振興、交流人口の拡大、地域の活性化に資するとともに、地元の顕彰活動を通じ地域コミュニティの充実を図る。</p>			
事業内容		<p>大型バス等での来訪やイベント開催時の駐車に支障をきたしていることから、史跡公園近辺に駐車場を整備するもの。</p> <p>○用地買収 [950㎡] R2年度完了</p> <p>○分筆登記業務委託 R2年度完了</p> <p>○測量設計業務委託 R2年度完了</p> <p>○駐車場整備工事 [乗用車14台、大型バス2台]</p> <p>上記のとおり、令和3年5月21日工事完了し、供用を開始している。</p> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場を整備したことにより、大型バス等による来館の利便性が向上した。</li> <li>※令和4年度は酒井家庄内入部400年であり、関連する観光事業により来館者の増加が見込まれる。</li> </ul> <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内看板やパンフレット整備など来館者へのサービス性向上を推進し、地域資源の更なる利活用を図る。</li> </ul>			
2022 (R4) 予算額				完了	千円

事業名	黒川能アーカイブ事業	実施年度	R1～R3	事業種別	完了 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(4) 歴史文化の継承と活用促進	
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性			
<p>黒川能は、黒川地区の2つの能座により500有余年もの間、連綿と受け継がれてきたが、近年の人口減少や少子高齢化の影響で、座加入の戸数および能役者が年々減少傾向にある。</p> <p>また、黒川能の囃子方は譜面ではなく口承による指導、稽古で、特有の伝承方法であることから、途絶えかけた演目もあるといわれ、正確に継承していくのが難しい。</p> <p>独特の謡や舞、所作、囃子が特徴である黒川能を継承していくには長い年月を必要とするが、勤務形態や生活環境の変化により、人材の確保および十分な稽古の時間を確保するのも難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。</p> <p>これまで上演された演目や演奏が収録されているものがあるが、VHSやMD等媒体が古いため再生機器もなく、活用されていない状況である。</p>		<p><b>【実績(事業全体)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VHS等映像のDVD化 130本</li> <li>・MD等音源のCD化 96本</li> <li>・謡、囃子の新規録音曲数 11曲</li> <li>・既存DVD複写作成 113枚</li> <li>・貸出用ディスク作成</li> <li>・貸出体制の整備（貸出要綱制定、貸出ディスク用ラック整備）</li> </ul>			
事業目的		 			
事業内容		<p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化した映像や音源のデータは外付けハードディスクに保存しており、平成25、26年度に整備した能面装束の写真図譜データとともに将来的な保存伝承のため管理していく。</li> <li>・収録したディスクは、令和4年度から能役者や学校関係に貸出を行い、実際の稽古や伝統芸能の学習等に利活用していく。</li> <li>また、年次的に一般住民にも鑑賞用として広く貸し出しできるよう、貸出体制について引き続き検討していく。</li> </ul>			
<p>各年、検討委員会開催（年2回）</p>		2022(R4) 予算額		完了 千円	



事業名	櫛引地域デマンド交通導入事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト								
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進									
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等											
<p>○高齢化や運転免許返納の増加により、日常生活に必要となる移動手段を持たない人が増加してきているため、移動手段を確保する必要がある。</p> <p>○高齢化率の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鶴岡市</th> <th>櫛引地域</th> <th>櫛引東地区</th> <th>櫛引西地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31.90%</td> <td>32.90%</td> <td>36.40%</td> <td>31.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○効率化の観点から令和4年度に庄内交通バス路線松根線の短縮が予定されている。</p>		鶴岡市	櫛引地域	櫛引東地区	櫛引西地区	31.90%	32.90%	36.40%	31.00%				
鶴岡市	櫛引地域	櫛引東地区	櫛引西地区										
31.90%	32.90%	36.40%	31.00%										
<p>○櫛引の赤川右岸地域全体のデマンド型の公共交通を継続し、高齢者等の交通手段を持たない住民の日常生活を支援するとともに交通空白域を解消する。</p> <p>○櫛引の赤川右岸地域におけるデマンド交通（デマンドタクシー）を継続する。（令和3年11月18日実証実験運行開始）</p>													
事業目的													
事業内容		<p>○利用者の予約に応じて運行するデマンドタクシーの通年運行 赤川右岸地域（自宅から）と赤川左岸の商業施設や医院など16箇所の間を運行 櫛代ルートと宝谷ルートを1日おきに運行 運行便数は、午前2便（1往復）、午後2便（1往復） 運賃は、1回400円（黒川郵便局までは1回300円）</p> <p>○デマンド交通の運営主体である櫛引地域デマンド交通運営協議会の運営</p> <p>○同協議会による運行計画の見直し</p> <p>○利用登録者、利用率増への取組</p> <p>○観光利用（マイクロツーリズム）との連携の検討</p>											
		2022(R4) 予算額		4,909 千円									



事業名	くしびき若者未来創造事業	実施年度	R1～R4	事業種別	継続 ソフト・事業補助
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>地域のリーダーが高齢化してきており、次世代への継承を図るため、地域のまちづくりをリードしていける若い人材を発掘・育成することが急務となっている。</p> <p>また、事業を通して若い世代の人脈拡大、新たなまちづくり事業の提案・実施を行うことで、地域貢献や地元定着につなげる。</p>		<p>住み続けたい地域を目指して →</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分(たち)の考えや思いを語り合い<b>交流</b>を深めよう</li> <li>○興味のあることを<b>研修</b>してみよう</li> <li>○自分(たち)でやってみたいことを<b>実践</b>してみよう</li> </ul>			
事業目的		<p>これまで…</p> <p>職場、家族、仲間以外に地域の若者同士が、語り合う「場・機会」がほとんどない</p>			
<p>協働のまちづくり、地域の未来創造には、若者の英知と独創的アイデア、そして行動するエネルギーが不可欠であることから、櫛引地域の若者による研修や交流等を通じて、地域のまちづくりを牽引していけるような人材の育成に寄与する。</p> <p>令和2年度から気軽に話し合う場として、参加者同士の人脈を拡大しながら若者が地域づくりに関わるきっかけとなるワークショップ「かだりばくしびき」を開催している。</p> <p>ワークショップテーマとして櫛引地域の資源の再確認、活用アイデアを出してもらい、施策への反映や参加者たちが実際に事業として取り組むことで若者が地域のまちづくりに参画する機会を創出する。</p>		<p>■櫛引の地域資源の再確認</p> <p>櫛引フィールドを体験し感じながら、集まって語り合い、互いの活動のヒントや新しい視点を見つける「場」として活用！サードプレイスの創出</p>			
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域づくりに関わるきっかけづくり、自分自身のスキルアップ</li> <li>●自分(たち)の活動を継続しながら、他との連携(仲間づくり)</li> <li>●市の施策への反映、地域づくりの実践</li> <li>●WS等で話し合ったことを成果に結びつける</li> </ul>			
		2022(R4) 予算額		183	千円

事業名	櫛引地域希少淡水魚保存事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>希少淡水魚イバラトミヨの保存は、櫛引町時代の平成6年から継続しているものである。</p> <p>当該イバラトミヨの生息池がある板井川地区では、平成20年に地元有志により「イバラトミヨを守る会」が設立され、地域ぐるみで希少淡水魚の保全に取り組んでいる。</p> <p>また、山形県では、レッドリストを改定し、当該イバラトミヨは準絶滅危惧種から絶滅危惧ⅠB類に変更されている。</p> <p>以上のことから、希少種イバラトミヨの保全を継続する必要がある。</p>		 			
事業目的		イメージ図・写真等			
<p>絶滅危惧種である希少淡水魚（イバラトミヨ）の種の保存活動を地元組織と継続していくとともに、公共施設での展示などを通じ、希少生物が生息できる環境を守ることが地域の環境保全につながるものとして、生態系保全や環境保護の機運醸成を図る。</p>		 			
事業内容		イメージ図・写真等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>イバラトミヨ生息池借上</li> <li>ポンプ設置用地借上</li> <li>地下水汲み上げポンプの電気料負担</li> <li>地元等と連携した環境学習会の開催</li> <li>公共施設でイバラトミヨを展示するとともに学校等と連携した活動の実施</li> <li>市ホームページ等での情報発信</li> </ul>					
2022(R4) 予算額					128 千円

事業名	櫛引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・S53年花と緑の町推進会議が結成され、花いっぱい運動がスタート。S55年に櫛引町の花「サルビア」を制定し、各地区自治会に植栽したサルビアを審査する花いっぱいコンクールを開催。S59年から国道112号歩道にサルビアを植栽し現在まで継続している。</li> <li>・櫛引花と緑の会を結成し、市（補助金）、賛助金、地区自治会費を財源に事業を実施。</li> <li>・国道112号線の植栽花壇は、通称「サルビアロード」とよばれ、歩道植樹帯の設置によって交通事故を低減させる役割を果たすとともに、通行者に心のやすらぎを与えており、H20年には緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞している。</li> <li>・国土交通省からの支援を受け、下山添地区老人クラブを中心に賛助会員、市職員や鶴岡南高校山添校等ボランティアの協力により支えられてきたものであり、今後も継続していくためには行政の支援が必要不可欠である。</li> <li>・下山添地区老人クラブが国道花壇維持管理の中心を担っていたが、現在は対応できなくなったため当会の会長を中心に実施しているが、高齢化や担い手不足が課題となっている。また、国道植栽にボランティア協力をいただいていた鶴岡南高校山添校が令和3年度をもって閉校されることにより、作業協力者の大幅な減少が懸念される。</li> <li>・今後も運動を継続していくためには、維持管理の担い手やボランティアの確保が必要である。</li> </ul>					
事業目的		花と緑の会で課題を整理し、活動内容を見直しながら継続的に実施			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・花づくりと緑化を積極的に推進し、環境を整え美しく住みよいまちづくりに貢献する。</li> <li>・多世代の交流によるコミュニティの活性化を図る。</li> </ul>					
事業内容		花いっぱい活動を持続し、市民が安全安心な生活を送れる環境づくり			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・櫛引花と緑の会（事務局：櫛引庁舎総務企画課）が実施する、サルビアの植栽等費用に対して引き続き補助金を交付する。</li> <li>・20地区の参加による花いっぱい運動とコンクールの実施</li> <li>・国道112号四車線区間へのサルビア植栽と肥培管理</li> </ul>					
		2022(R4) 予算額		350 千円	

※R4から櫛引中学校が活動参加の意向





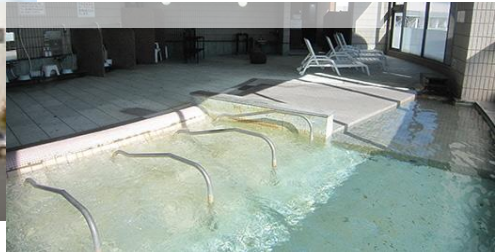
事業名	くしびき夏のイベント推進事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>少子高齢化の進行と人口減少、就業構造の変化などの要因により、地域の連帯感が希薄になっている。過去にはJAや商工会がそれぞれで夏のイベントを実施していたが、地域内の関係組織・団体が連携・協力して地域住民の交流の場を設定しながら、地域のまとまりや活力を維持していく取り組みが求められている。</p> <p>黒川能野外能楽「水焰の能」は、旧櫛引町誕生30周年の記念事業の一環で開催したイベントで回数を重ねて櫛引地域における夏の風物詩として定着している。</p>		<p><b>くしびき夏まつり</b></p>  <p>伝統芸能の発表</p>  <p>子ども向けコーナー</p>  <p>ステージアトラクション</p> <p><b>水焰の能</b>(別途予算による開催)</p>  <p>黒川能 能一番 (ほかに狂言一番、東小児童の舞囃子)</p>			
事業目的					
<p>総合運動公園の整備に伴い、黒川能野外能楽「水焰の能」の会場は櫛引福祉公園からを総合運動公園野外ステージに移った。水焰の能のための舞台を設営して開催を重ねてきたが、その設営場所を夏まつりにも活用をということで、JA庄内たがわ(農業)、出羽商工会(商工)、櫛引観光協会(観光)の関係団体が連携・協力のもと、地域住民が一堂に会する夏のイベント「くしびき夏まつり」を開催するもの。住民交流により賑わいを創出し、地域のまとまりを高めながら、人・もの・情報の交流を一層推進し、地域の活性化及び発展につなげること。</p>					
事業内容					
<p>8月の第1金曜日開催の「くしびき夏まつり」と第1土曜日開催の「水焰の能」を櫛引地域の夏の二大イベントと位置づけている。</p> <p>くしびき夏まつりは、業種や年代を超えて櫛引地域の老若男女が集うイベントに定着してきており、実行委員会の企画により伝統芸能の発表なども盛り込まれている。開催年ごとの実行委員会の協議により、新たなアイデアを加えながら、目的に沿った事業となるように支援を行う。</p> <p>農業団体、商工団体、観光団体等により組織される実行委員会を市が共催する形で運営補助金を拠出するとともに人的支援も行う。</p> <p>○商業者等による展示販売、農業団体・産直組織による特産物や姉妹都市の特産品の紹介販売</p> <p>○子ども向けコーナーの設置 (バルーンアート、バッテリーカー、縁日コーナーなど)</p> <p>○ステージアトラクションの実施 (伝統芸能の発表、歌謡ショーなど)</p>					
2022(R4) 予算額				360	千円


事業名	「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業	実施年度	R3～R4	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>宝谷地区は「そば」を核とした地域づくりに取り組んでおり、「ふるさとむら宝谷運営管理組合」でそば店舗を運営しているほか、県産そば新品種「山形BW5号（宝谷では「でわ宝」として商標登録済）」の県内最大の産地となっている。（作付面積：約33ha）</li> <li>地区内人口が25世帯76名（R3.12.31現在）にまで減少、高齢化率も50%を超え、住民同士の共助にも限界が見えている。</li> <li>将来的な地域づくりを見据え、平成30年7月に「宝谷地区集落ビジョン」を策定。</li> <li>アフターコロナで、ソロキャンプ等のニーズが高まっており、キャンプ場利用者が増加傾向。</li> <li>新商品として開発中の「冷凍そば」の販売に向けて、通販サイト等の活用を検討。</li> </ul>		 <p>ふるさとむら宝谷</p>  <p>「でわ宝」100%を原料にした宝谷そば</p>  <p>ふれあい広場(キャンプ場)</p>  <p>ウォーキングイベント(イメージ)</p>  <p>宝谷そばポスター</p>  <p>試作中の「冷凍そば」</p>			
事業目的					
<ul style="list-style-type: none"> <li>「宝谷地区集落ビジョン」の達成のために行う事業に対して支援する。</li> <li>(1) 宝谷キャンプ場等の地域資源活用事業の継続拡大</li> <li>(2) 「でわ宝」を核とした地域活性化</li> </ul>					
事業内容					
<p>宝谷地区地域資源活用事業補助金 [R4予算額：935千円]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域資源活用のための環境整備（キャンプ場照明整備）</li> <li>(2) 「でわ宝」（玄そば、そば粉）の販売促進</li> <li>(3) そば店舗集客力向上の取組み（遊歩道を活用したウォーキングイベントの実施）</li> <li>(4) 新商品として開発中の「冷凍そば」の通販サイト販売経費</li> </ul>					
		2022(R4) 予算額		935 千円	



事業名	横綱柏戸記念館活性化事業	実施年度	R3～R6	事業種別	ソフト・事業補助
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>櫛引出身の名誉市民(旧名誉町民)で、県民栄誉賞第1号受賞者である大相撲第47代横綱「柏戸剛」は、今なお県内出身唯一の横綱であるが、残念ながら現役当時の雄姿を知る者は中高年の世代に限られている。横綱柏戸の偉業を顕彰し、後世に伝えるため平成16年には「横綱柏戸記念館」が建設された。記念館には、横綱柏戸の貴重な資料を保有しているが、解説文などが不足している。また、横綱柏戸の偉業が、現役当時を知らない世代や、地域外から訪れる方などへ広く周知、啓発する施設となっていない状況にある。</p>					
事業目的		<p>くしびき温泉ゆーTownを含む当館周辺エリアは、今後櫛引地域における地域公共交通の拠点地とする計画があり、また、赤川かわまちづくり計画との連携や鶴岡市南部エリア観光、マイクロツーリズムにおける櫛引地域の重要施設としても活用していく。</p>			
事業内容		<p>①第47代横綱柏戸・鏡山親方の功績をたたえ資料保存と公開を行う。  ②ニッチな観光客のニーズに応え、館内の展示方法や改善点を整理するとともに、運営手法の検討や各種事業を展開するために産業観光スポーツ関係者らを中心に横綱柏戸記念館活性化推進委員会を立上げる。  ③衰退する本市の歴史ある少年相撲を再生すべく、移築した鏡山部屋の稽古土俵を修繕し、そこで少年相撲(柏戸杯)大会を開催する。</p> <p>[令和4年度]  ①横綱柏戸記念館活性化推進委員会での検討及び事業展開  ・少年相撲(柏戸杯)大会や没後25周年関連イベントの実施  ②土俵の整備  ③収蔵庫の整理</p>			
		<p><b>観光</b></p> <p>令和元年度観光ガイド実績(櫛引観光ガイドの会対応分)  ・新潟交通(新潟)【292人/10日】  ・千曲旅行(長野)【80人/2日】  ・秋北航空サービス(秋田)【831人/21日】  合計【1,203人/33日】</p> <p><b>イベント</b></p> <p>鶴岡学童相撲大会歴史に幕  わんぱく相撲大会休止中  <b>柏戸記念学童相撲大会計画</b></p> <p>土俵の整備</p>			
		<p>来館者の増加・地域連帯感の醸成・産業観光振興・  後世への伝承・収蔵品の適正管理</p> <p>来館者(記帳者)R元:3,015人→R2:479人→R3:400人(見込み)→R4:3,000人(目標)</p>			
		2022(R4) 予算額		1,550 千円	



<b>事業名</b>	「くしびき温泉ゆ〜Town」活性化事業	<b>実施年度</b>	R4〜	<b>事業種別</b>	新規 ソフト
		<b>櫛引地域振興計画での位置づけ</b>		(5) 地域づくりの推進	
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>イメージ図・写真等</b>			
<p><b>【背景】</b> 健康増進施設として新たなスタートを切った「くしびき温泉ゆ〜Town」を、新規利用者を含めた利用拡大を図る。</p> <p><b>【課題】</b> 管理運営事業に販売促進費用が含まれていないため、サービスの低下に伴う利用者の減少が懸念されることに加え、新規の顧客獲得が困難となっている。フレイル予防事業は高齢者向けであるため、若年層が対象とならない。施設の劣化により、安心・安全に入浴を楽しめない箇所がある。</p>		<div data-bbox="1340 348 1783 395" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>イメージアップ事業の取組</b> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1389 440 1611 701" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #4682B4; color: white; text-align: center;"> <p><b>販売促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販促商品開発</li> <li>・情報発信</li> </ul> </div> <div data-bbox="1677 440 1899 701" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #FF8C00; color: white; text-align: center;"> <p><b>健康増進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層向けの健康増進活動</li> </ul> </div> <div data-bbox="1956 440 2178 701" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #DDA0DD; color: white; text-align: center;"> <p><b>施設改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設修繕</li> <li>・遊休スペースの活用</li> </ul> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1463 892 2104 1013" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h2 style="margin: 0;">地域の居場所づくりとして ゆ〜Townを提供する</h2> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> </div> <div data-bbox="1308 1291 1596 1338" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <b>期待される効果</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のイメージアップによる活性化で入浴者数増。</li> <li>・販促グッズを活用して新規入浴者を獲得する。</li> <li>・施設改善により子育て世代等の顧客を獲得する。</li> <li>・若年層が温泉を積極的に活用することにより今まで利用の少なかった若年層を取り込む。</li> </ul> </div>			
<b>事業目的</b>					
<p>新たな魅力等を付加するイメージアップ事業により、地元の温泉施設としてより一層地域に浸透させ、地域住民の交流拡大による地域の活性化に向けた取り組みを行う。</p> <p>①販売促進（販促商品開発、情報発信） ②健康増進（若年層向けの健康増進活動） ③施設改善（施設改善、遊休スペースの活用）</p>					
<b>事業内容</b>					
<p><b>【販売促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルキャラクター作成</li> <li>・キャラを使用したタオルや防水バック等のオリジナルグッズ開発</li> <li>・インフルエンサーへの入浴割引券による、情報発信</li> </ul> <p><b>【健康増進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層が実施する健康増進事業に支援し、ゆ〜Townに若者を取り込む</li> <li>※健康増進事業の参加者が自主的にサークル活動を出発するような流れを作る</li> </ul> <p><b>【施設改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化している施設の改修</li> <li>・遊休スペースの有効活用</li> </ul>		<div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1505 1586 1776 1633" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>2022(R4) 予算額</b> </div> <div data-bbox="2054 1586 2252 1633" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <b>430 千円</b> </div> </div>			

事業名	櫛引地域いきいき健康活動拠点運営への支援事業	実施年度	R2～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>平成29年度までは、地区公民館等の施設を使用しながら概ね65歳以上の高齢者を対象に、語らいや交流、運動や健康づくりなどを通じて、閉じこもり・認知症などの予防と要介護状態にならないことを目的として、櫛引地域の多くの地区でいきいき健康クラブ運営事業（介護予防事業）が実施されていた。</p> <p>現在は、介護保険法の改正に伴い、市全域で長寿介護課が所管する「地域介護予防活動支援事業」に移行し、年間を通して定期的に運動（体操）を取り入れることで、高齢者の基礎体力・筋力アップを図ることで介護予防の効果を高める内容に見直されている。</p> <p>このため、いきいき健康クラブ運営事業とは取り組み内容が大きく異なっているため、従来の事業を代替するには至っておらず、移行を断念し高齢者同士の交流や語らいなどの機会を失っている地区も一部ある。</p> <p>なお、住民自治総合交付金の見直しにより、地区の判断で自由に活動できる財源が多少なりとも交付されている。</p>		<p>◆ 高齢者を対象として関係機関や個人等が実施している様々な分野の講座メニューやその申込先等をわかりやすく一覧で整理・配布・事業実施サポート</p> <p>健康づくり、介護予防、閉じこもり予防、生きがい・絆を深める活動</p> <p>体操・軽スポーツ・レクリエーション・創作・芸術・研修等</p> <p>↓</p> <p>高齢者が住む地区の中に、気軽に歩いて参加できる活動の場（活動拠点）の継続設置や新規開設へつなぐ</p>			
事業目的					
事業内容		<p>※ いきいき百歳体操講座（板井川地区）の様子</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域介護予防活動支援事業【長寿介護課】</li> <li>・ いきいき百歳体操講座【長寿介護課】</li> <li>・ 生涯現役推進事業（なり元気塾）【市社協事業】</li> <li>・ 福祉活動支援事業（サロン活動）【市社協事業】</li> <li>・ その他【地区単独事業】</li> </ul>			
		2022(R4) 予算額			- 千円



事業名	山添校閉校後の跡地活用（検討）	実施年度	R2～	事業種別	継続 ハード・ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>●山添校は令和3年度（今年度）末で閉校となるが、鶴岡南高・中高一貫校の部活動の場として、グラウンド・体育館は県で引き続き活用する予定（最長令和7年度ごろまで）。</p> <p>●櫛引地域の中心地において巨大な遊休施設とならないようにと、地域振興懇談会や市議会で跡地活用を望む声がある。</p> <p>●手狭となっている西部学童保育所の課題と、子育て世代やまちづくり塾メンバー、地域振興懇談会委員など多方面より、地域に大型遊具のある遊び場の要望がある。</p> <p>●鶴岡サッカー協会等より人工芝サッカー場の整備要望があり、山添校跡地も候補地の一つとなっている（鶴岡市には人工芝サッカー場が無い）。</p> <p>●校舎棟は、閉校後に県での活用予定はないが、設備の老朽化等が進んでおり、その活用には慎重な姿勢が必要。</p>					
事業目的		活用アイデア (R3.11.27かたりばくしびきvol.3WSより)			
<p>閉校後の跡地について、引き続き敷地及び施設全体が地域振興に資する施設として利活用されるよう強く県へ働きかけをしていく（県への市重要事業要望に追加で、県営サッカー場の整備要望と、他県有遊休施設と合わせて山添校の管理・活用を入れ込んだ形で要望した）。</p> <p>関係部署と連携して県への要望や調整を進めつつ、市としての方向性を決めていく。櫛引庁舎としては、従前から考えてきた、人工芝サッカー場の誘致（整備）、体育館棟（武道場）に西部学童保育所の移転、付随設備としてグラウンドの一部に遊具広場を設置できないかの検討を継続。サッカー場・遊具ともに、空き時間には一般開放する仕組みを検討。安全に遊べる場・親子でふれ合える場を創出し、子育て世代や祖父母世代が集い交流することにより地域コミュニティの醸成につなげる。もって少子化への歯止めの一助とする。</p> <p>校舎棟活用については、将来的な耐用年数も考慮し、大きな投資とならないような利用方法を探る。</p>		<p>スポーツ施設（ジム）、勉強・交流スペース（不登校児の居場所、放課後デイサービス）、動物保護施設（動物診療所・ドッグラン）、カフェ（子ども食堂、キッチンスタジオ、動物）、本屋（漫画図書館）、外国人交流スペース（日本習慣学校）、キャンプ場（宿泊施設）、貸しオフィス（コワーキングスペース、スタジオ）、体験施設（農業・職場・そば打ち・体育教室）、お茶栽培（柿・桑）、リサイクルショップ（フリマ・古着屋）、写真館（コスプレ撮影所）、美術館（富樫実氏）、便利屋（何でも屋）、屋台村、お化け屋敷</p>			
事業内容		2022(R4) 予算額			
<p>○関係部署と連携して、県での活用、処分、条件等について、意向確認や調整を進める（R2にメールでの確認、R3に県庁訪問を実施）</p> <p>○関係部署と連携して、県への要望、市内部の情報共有、方向性を決めていく（R3に庁内検討会議などを実施）</p> <p>○校舎棟については設備の老朽化等から、そのままでは活用が難しい（用途が制限される）面がある。有効活用していくには具体的かつ自発的な利用希望者を募っていく必要がある（R3に若者未来事業にて活用アイデアワークショップを開催）。</p> <p>○市の方向性が定まった場合、事業（整備）の実施（県調整）は、事業担当課で行う。</p>		-		千円	

事業名	やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業	実施年度	R6(R2)～R9	事業種別	継続 ハード・ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>1. 子どもが、遊べる公園・環境が少ない。</p> <p>2. 年齢問わず地区民の“いこいの広場”としてのスポーツセンター付近を拠点施設として 整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。</p> <p>3. 桜開花時期、やすらぎ公園沿いにぼんぼり設置要望がある。</p> <p>4. 桜の手入れ不足の声（テングス病駆除や大枝剪定）</p> <p>5. 桜の開花時期に必ず馬渡川付近への行き方についての問い合わせがあるが、道路標識が無いため、説明に苦慮する。</p>		<p>The image block contains three main visual elements: 1) A detailed street map of the area around Akikawa, with red and blue lines indicating project routes and various yellow callout boxes for specific locations like '案内看板' (directional signs), '誘導看板' (guidance signs), 'ぼんぼりの設置' (bonbonri installation), and '桜並木' (cherry blossom trees). 2) An aerial photograph of the 'やすらぎ赤川河畔エリア' (Yasuragi Akikawa Riverside Area) showing the river, surrounding fields, and buildings. 3) A photograph of a path lined with cherry blossom trees along the Akikawa river.</p>			
事業目的		<p>多くの地域資源が集積する「やすらぎ赤川河畔エリア」を一体的にとらえ適切な管理と活性化を施すことで、交流人口を増やしにぎわいを創出する。</p> <p>また、スポーツ公園付近に遊具の新設、年齢問わず地区民の“いこいの広場”としてのスポーツセンター付近を拠点施設として整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。</p>			
事業内容		<p>やすらぎの赤川河畔エリアは住民いこいの場の拠点化</p> <p>①周辺施設との赤川周遊（右岸含む）が出来るレンタサイクルの配置。 （サイクルポート：4箇所：スポーツセンター、産直めぐり、王祇会館、丸岡城跡）</p> <p>②誘導案内看板4基（馬渡川の桜づつみへのアクセス）</p> <p>③利用案内看板2基（ジョギング等の案内用）</p> <p>④桜並木の適切な管理 国、地元、市の三者協定による計画的更新、テングス病駆除・大枝剪定</p> <p>⑤ちびっこ広場に遊具設置 「赤川かわまちづくり計画」で整備検討</p>			
2022(R4) 予算額				— 千円	



事業名	櫛引地域交通安全・防犯の日啓発事業	実施年度	R1			事業種別	完了 ソフト																																																																																	
		櫛引地域振興計画での位置づけ			(5) 地域づくりの推進																																																																																			
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>実績（評価）及び今後の方向性</b>																																																																																						
<p>櫛引地域では1985年から、毎月一日を「町交通安全の日」と定め、地域住民や通過車両に交通安全を呼びかける目的で、町（市）で配布した黄色い小旗を家の入口や門柱に掲げて交通安全を啓発する運動を行っている。これは櫛引地域に深く浸透しており、地域独自の運動として現在まで継続しているものである。</p> <p>旗は最初の全戸配布から30年以上経過しており、各地区からは旗の老朽化や紛失の声も多数寄せられているほか、配布後に地域に住み始めた家庭には配付されていない、地区によっては取り組み姿勢に差があるなどの課題がある。</p> <p>また、櫛引地域では夏の安全県民運動期間中や秋の交通安全運動期間において、立哨指導や「000（なしなしなし）作戦」などを鶴岡市防犯協会櫛引支部と連携して実施するなど、防犯活動にも積極的に取り組んでいる。</p>		<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年10月末に小旗を全戸配布。合わせて啓発用にチラシも配布。</li> <li>全戸配布前の明るい地域づくり櫛引大会内で、小旗の贈呈式を行った。</li> <li>小旗掲揚数調査を実施。（令和元年10月と11月、令和2年4月の計3回）</li> <li>小旗と同様の内容でのぼり旗を作成し、各地区や事業所に配布した。</li> <li>毎月1日は音声告知放送で住民に周知（令和2年度からは前日も放送）。</li> <li>毎月1日は庁舎前にのぼり旗・小旗を掲揚。（荒天時を除き、前日夕方から掲揚）</li> </ul> <p>（参考）掲揚調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">1回目(2019.10.1) ※小旗更新前</th> <th colspan="3">2回目(2019.11.1) ※小旗更新後</th> <th colspan="3">3回目(2020.4.1)</th> <th colspan="3">4回目(2021.4.1)</th> </tr> <tr> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>パーセンテージ</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>パーセンテージ</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>パーセンテージ</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>パーセンテージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西地区</td> <td>718</td> <td>65</td> <td>9%</td> <td>721</td> <td>202</td> <td>28%</td> <td>718</td> <td>147</td> <td>20%</td> <td>726</td> <td>178</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>東地区</td> <td>275</td> <td>47</td> <td>17%</td> <td>248</td> <td>65</td> <td>26%</td> <td>248</td> <td>74</td> <td>30%</td> <td>265</td> <td>88</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>南地区</td> <td>332</td> <td>107</td> <td>32%</td> <td>321</td> <td>119</td> <td>37%</td> <td>321</td> <td>141</td> <td>44%</td> <td>328</td> <td>144</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td><b>全体</b></td> <td><b>1,325</b></td> <td><b>219</b></td> <td><b>17%</b></td> <td><b>1,290</b></td> <td><b>386</b></td> <td><b>30%</b></td> <td><b>1,287</b></td> <td><b>362</b></td> <td><b>28%</b></td> <td><b>1,319</b></td> <td><b>410</b></td> <td><b>31%</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>調査方法 ※西・東・南地区から4地区ずつ、計12地区を対象に実施。</p>										区分	1回目(2019.10.1) ※小旗更新前			2回目(2019.11.1) ※小旗更新後			3回目(2020.4.1)			4回目(2021.4.1)			調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	西地区	718	65	9%	721	202	28%	718	147	20%	726	178	25%	東地区	275	47	17%	248	65	26%	248	74	30%	265	88	33%	南地区	332	107	32%	321	119	37%	321	141	44%	328	144	44%	<b>全体</b>	<b>1,325</b>	<b>219</b>	<b>17%</b>	<b>1,290</b>	<b>386</b>	<b>30%</b>	<b>1,287</b>	<b>362</b>	<b>28%</b>	<b>1,319</b>	<b>410</b>	<b>31%</b>
区分	1回目(2019.10.1) ※小旗更新前			2回目(2019.11.1) ※小旗更新後			3回目(2020.4.1)			4回目(2021.4.1)																																																																														
	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ																																																																												
西地区	718	65	9%	721	202	28%	718	147	20%	726	178	25%																																																																												
東地区	275	47	17%	248	65	26%	248	74	30%	265	88	33%																																																																												
南地区	332	107	32%	321	119	37%	321	141	44%	328	144	44%																																																																												
<b>全体</b>	<b>1,325</b>	<b>219</b>	<b>17%</b>	<b>1,290</b>	<b>386</b>	<b>30%</b>	<b>1,287</b>	<b>362</b>	<b>28%</b>	<b>1,319</b>	<b>410</b>	<b>31%</b>																																																																												
<b>事業目的</b>		<p>交通事故・犯罪のない安全で安心な町を実現するため、これまでの「交通安全の日」の旗を新たに「交通安全・防犯の日」と改めて作成・配布するとともに、広報や音声告知放送などで改めて活動の趣旨を説明することで、櫛引地域の住民や通過車両に対して交通安全・防犯の意識を醸成する。</p>																																																																																						
<b>事業内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに防犯啓発の内容も加えた「交通安全・防犯の日」の旗を作成し、R1.10月末に櫛引地域に全戸配布。</li> <li>啓発チラシ全戸配布</li> <li>R1.10.20に行われた明るい地域づくり櫛引大会では小旗の贈呈式を行ったほか、大会宣言に小旗掲揚運動の推進による意識高揚を盛り込み、一層の運動推進を確認した。</li> <li>毎月1日は音声告知放送にて周知を行い、庁舎前にも小旗を掲揚する。</li> <li>R2年度以降は、小旗の補充・交換分を庁舎に保管し、問い合わせに対応する。</li> </ul>																																																																																						
		<p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小旗更新後の令和元年11月1日調査では、更新前より掲揚率が全体的に増加した。（17%⇒30%）</li> <li>掲揚率はほとんどの地区で増加したものの、地区によって差がある。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全や防犯など関係団体が協力して啓発を行う。</li> <li>音声告知放送や広報を活用し、引き続き地域全体に周知・啓発を行う。</li> </ul>																																																																																						
		<b>2022(R4) 予算額</b>							<b>完了 千円</b>																																																																															



更新後小旗掲揚の様子



のぼり旗

事業名	「空にかける階段」インフォメーション事業	実施年度	R1～R2	事業種別	完了 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性			
<p>(背景) 櫛引地域出身の世界的彫刻家「富樫実」(名誉市民)の「空にかける階段」シリーズは、櫛引地域の富樫ロード(仮称)や櫛引庁舎を始め、市内では庄内空港、山形自動車道鶴岡IC、美咲町開発地、開運橋、千歳橋があり、国内外にも多数設置されており、その芸術的評価は京都市文化功労賞、紺綬褒章等を受賞するなど権威の高いものである。現在、氏の木製作品は、櫛引庁舎に数多く展示、公共施設や民間企業に貸し出しを行うことで気軽に目にし触れられる展示を行っている。</p> <p>(課題) 氏の作品については櫛引地域の各所に展示されているが、氏の人物像、功績、作品思想等の紹介が薄く地域住民より認知されていないという課題がある。</p> <p>(住民ニーズ) 櫛引観光協会をはじめ地域の富樫支援者では、氏の功績を広く知らしめ後世に伝え、また櫛引地域の芸術的シンボルとして「空にかける階段」を位置づけ、黒川能、丸岡城跡の観光資源に繋げたいという考えが以前よりある。</p>		<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者による懇談会開催</li> <li>・ロビー展示ケースへの作品展示</li> <li>・紹介パネルの作成及びQRコードから紹介映像へのリンク</li> <li>・櫛引生涯学習センター内の各所への作品展示(ホール、ロビー、各会議室)</li> </ul>			
事業目的		ロビー(展示ケース)への作品展示等の様子			
<p>○世界的彫刻家である富樫実氏(名誉市民)の「空にかける階段」作品を紹介するブースを拠点として整備するとともに、市内各所に点在する氏の作品を観て回遊できる仕組みを作り氏の功績を広く伝える。</p>					
事業内容		評価			
<p>○名称 「空にかける階段」インフォメーションブース(仮称)</p> <p>○設置場所 生涯学習センター(ロビー)</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品紹介ブースの整備</li> <li>・氏の彫刻作品や作品思想の紹介パネルとYouTube映像の検討</li> <li>・市内各所に設置されている作品を回遊できる仕組みづくり。</li> <li>・拠点整備のための関係者懇談会の開催。</li> </ul> <p>上記の予定で進めていたが、施設改修を伴う展示を行うのではなく経費抑制などの観点から方向転換し、櫛引生涯学習センターへの作品展示、紹介パネル作成、QRコードからの市HP紹介映像へのリンクを実施し、当事業としては区切りをつけて完了することとした。</p>		<p>・QRコードからのリンクで紹介映像や富樫実ホームページの閲覧を容易にできることにより、市内各所にある石彫作品への見学者増が期待できる。</p>			
		今後の方向性			
		<p>・富樫氏の作品の貸し出し事業・櫛引生涯学習センターへの展示については、継続して実施。</p>			
2021(R3)予算額					完了 千円



事業名	櫛引地域の情報発信事業（櫛引PR事業）	実施年度	R1～R2	事業種別	統合（完了） ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		（5）地域づくりの推進	

背景・課題・住民ニーズ

○飛躍的に普及拡大しているインターネットは、発信できる情報量が豊富で、即時性や経済性、双方向性といった特性を持っている。特にソーシャルネットワーキングサービス（SNS）は、即時性及び経済性に優れており幅広い人々に情報発信が可能となる。  
 ○ホームページやパンフレットは形式的であり、具体的な内容が伝わりづらい。  
 ○櫛引地域外の人々が櫛引地域のタイムリーな情報について知る機会がほとんどない。  
 ○KCTはあるものの櫛引・朝日地域のみでありそれ以外の地域に動画で情報発信はできていない。

事業目的

近年の情報発信の多様化により市民や観光客の情報入手方法はホームページやパンフレットのみだけでなく、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を利用したものが増えている。SNSでは写真を中心とした文字での情報を、動画を活用した情報が発信可能である。これらを利用し、SNS世代である若者を中心に櫛引のフルーツを中心として日常風景などを発信する。

事業内容

■SNS（facebook・instagram）の活用  
 ・元年4月に立ち上げた「くしびきフルーツ日記」（R2年2月現在vol.58配信）において、静止画・イラストだけでなく果樹を中心とした作業や櫛引の日常風景などについて動画と連動した情報発信を行う。

本事業については、令和2年度より「くしびきフルーツ振興プロジェクト事業」に統合し、内容を強化しながら情報発信を継続することとした。

実績（評価）及び今後の方向性

### 実績

#### ■ SNS投稿数 （単位：回）

	メイン	動画	ストーリーズ (品種紹介)	投稿先
R1年度	61	—	—	Instagram Facebook
R2年度	60	7	50	



R3年度から、  
twitterアカウント

#### ■ SNSフォロワー数 （単位：人）

	Instagram	Facebook	合計	備考
R1年度	313	225	538	R2.3.31現在
R2年度	652	305	957	R3.1.31現在



くしびきフルーツ日記  
6月9日(水)



くしびきフルーツ日記  
6月17日(水)



くしびきフルーツ日記  
6月17日(水)

評価

- ・SNSによる情報発信の強化により、櫛引産フルーツの訴求効果が高まった。
- ・「くしびきフルーツ日記」が配信されることで、農家の生産意欲の向上につながった。

今後の方向性

・本事業については「くしびきフルーツ振興プロジェクト事業」に統合し、ブラッシュアップを図りながら情報発信を継続する。

事業名	櫛引地域公共交通調査事業	実施年度	R3	事業種別	完了 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性			
<p>これまで既存の地域公共交通を活かしながら地域公共交通網を構築してきたが、利用者の減少やバス路線から離れた地域では公共交通を利用できなかった。</p> <p>そのため、櫛引地域赤川右岸地区においてデマンド交通を導入したが、更なる交通利便性の向上のため具体的な調査・検討が必要な状況にある。</p> <p>また、市では、バス路線などの幹線については市の責務として維持に努めてきたが、利用者数の少ない路線の効率化も考慮する必要があり、庄内交通バス路線松根線の短縮が予定されている。</p>		<pre> graph TD     A["鶴岡市 公共交通再編案 デマンド交通"] -- 業務委託 --&gt; B["調査請負業者 (コンサル) 調査分析"]     B -- 提案 --&gt; A     A -.-&gt; C["住民"]     B -.-&gt; C     C -.-&gt; A     C -.-&gt; B   </pre> <p>※成果品については、令和4年3月下旬に受領予定</p>			
事業目的					
<p>住民の利便性と公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系を確保するため再編調査事業を実施している。</p>					
事業内容					
<p>1 これまで行われてきた調査事業の結果や路線分析などを活用し、市で計画してきた再編案についての検証と裏付けの調査等を専門家に委託した。</p> <p>2 デマンド交通実証実験運行等のデータを分析し、市民にとってより利用しやすい運行計画を提案いただく。（履行期限 令和4年3月28日）</p> <p>※既存の交通網を含めた藤島・櫛引地域全体の地域公共交通再編の調査・提案等を業務委託している。</p>					
		2022(R4) 予算額		完了 千円	